

墓碑／路傍の大樹  
.....開村者の墓じるし

星立庵の前に唐松(枯死)・桂・  
檜の三本が並んでいるが(現在は  
桂・檜の二本)、古老の話によると  
承和十一年(八四四年)越後国より  
藤原常衡・大友師門・熊谷勘解由  
が来て村を開いたと伝えられてい  
るところから開村者の墓じるしの  
木と言われている。



墓碑／石碑・石仏.....路傍に眠る先祖の霊

路傍に数多くの石碑・石仏が並んでおり、信仰心の厚い村人は朝  
に水を手向け夕の畑仕事の帰りに花を供えている。古い時代であり  
ながら極めて高度の技巧をもって刻まれており、星立庵を中心に  
「橘」「星」「平野」などの姓別に墓碑がかたまっているのは興味深い

